

A. 主な動き

1. 内政

民主勢力統一候補をめぐる動き

・3日、ユーシチェンコ大統領は、民主勢力の統一候補擁立にかかる交渉が最終段階に入ったと発言。交渉を行っている候補者について、ヤツェニユク前最高会議議長、コステンコNUNS議員、グリツェンコNUNS議員及びチャグニボク「スヴァボーダ」代表等を挙げた。

・これに対しチャグニボク「スヴァボーダ」代表は、ユーシチェンコ大統領の発言を否定。

・4日、ユーシチェンコ大統領は、民主勢力統一候補の擁立交渉が継続されており、望みを捨てていないと強調。

・4日、ヤツェニユク前議長は、民主勢力の統一候補交渉に参加していないと発言。

中央選挙管理委員会決議をめぐる動き

・4日、中央選挙管理委員会は、在宅投票に関する決議を採択。

・5日、シャポヴァル中央選挙管理委員長は、4日の決議は幾つかの誤りを含んでおり、例えば在宅投票者の健康状態を確認する文書を求めるべきと発言。

・5日、ティモシェンコ首相は裁判所に決議の廃止を求める意向を発表。

その他

・5日、トメンコ最高会議副議長は、大統領選挙後、春か秋には期限前議会選挙が行われるべきと発言。

・5日、ヤツェニユク前議長は、ヤヌコーヴィチ地域党党首が大統領になった場合、ティモシェンコ首相は首相に留任するが、ティモシェンコ首相が大統領になった場合ヤヌコーヴィチ地域党党首が首相になるとは思わないと発言。

・5日、サフチェンコ内務次官は、地域党キエフ支部からキエフ市に対し、1月17 - 20日に集会の届出があったと発表。

・8日、BYTはユーシチェンコ大統領がヤヌコーヴィチ地域党党首支援のため、意図的にティモシェンコ首相に反対する偽りの情報を流していると非難。

・中央選挙管理委員会は9日までに計2,688名を国際選挙監視要員として登録、そのうち256名が政府派遣、2,432名が国際組織派遣によるもの。

2. 経済

経済指標

・5日、国営会社オデッサ商業港は2009年の貨物取扱量は2008年比18.97%減の2800万トンと発表。また、国営会社イリチェフスク商業港は、2009年の貨物取扱量は2008年比13.9%減の1630万トンと発表。

・6日、国家統計委員会は、2009年12月の消費者物価指数は前月比0.9%上昇し、2009年のインフレ率は12.3%であったと発表。

・6日、2009年12月末における中央銀行の金及び通貨の準備高が前月比2.9%(7億8616万ドル)減少し、265億488万ドルとなったと中央銀行が発表。

その他

・2日、閣僚会議は、ウマンスキー財務大臣代行の意向を踏まえ、中央銀行に関する法令の改変を今月最高会議に提案する予定であると発表。ウマンスキー財務大臣代行は銀行の監視権、株・債券市場の国家委員会、金融サービス市場の規制国家委員会に関する権力を中央銀行から他の機関に移行するべきであるとの考え。

・5日、ウクライナ最大の農業会社の一つであるニブロン社が、2010年6月までにザポルジヤ州カコフカ(Kakhovka)貯水池(ドニプロ川)に穀物保存、輸送のための設備の建設を完成させる予定であると、ザポルジヤ州政府が発表。同ターミナルは6万トンの穀物を乾燥し、船(河川用)に積み込む設計で、およそ7000万グリブナのプロジェクト。

ガス問題

・6日、中央銀行は12月29日から1月4日の間に約77億グリブナの国内債を購入し、国債保持高が424億グリブナから500億グリブナへ上昇。

・6日、ユーシチェンコ大統領は、12月分ガス代金支払いに重大な懸念があるとして、ステリマフ中央銀行総裁に緊急の理事会を招集し対策を講じるよう、また会計検査院に対してはナフトガス社の資金用途を検査するよう書簡を發出。

・6日、ブローダン燃料エネルギー相の発表によれば、ウクライナ・ナフトガス社の露ガスプロム社に対する12月分ガス代金は8億9200万ドル。

・7日、露ガスプロム社はウクライナ・ナフトガス社が12月分ガス代金の支払いを完了したことを公式に確認。

3. 外政

▼6日、ユーシチェンコ大統領は2010年に「ウクライナ・シーチ銃兵隊」対露戦勝95周年を祝う旨の大統領令に署名

・「ウクライナ・シーチ銃兵隊」(1914-19)は第一次世界大戦時、オーストリア・ハンガリー帝国の支援を受けマキフカ山(リヴォフ州)の戦いでロシア軍を破った、ガリツィア地方(西ウクライナのポーランド国境付近)を拠点とする特殊部隊

・7日、グルィズロフ露国家院議長は同大統領令を「非友好的」と批判。

▼2010年新年祝辞

・ポロシェンコ外相宛にロシア、スペイン、カザフスタン、ポーランド、スロベニア、エストニア、リトアニア、ハンガリー、スロバキア、ベラルーシ、モルドバ、日本、韓国、イスラエル、EU、CIS諸国、米国、アジア、その他の国々の外相から新年の祝辞あり。

4 . 防衛

海賊被害

・2日、ソマリア沖で英国船籍の「Asian Glory」を拿捕。乗員

には10名のウクライナ人が含まれている。

・6日、海賊による拿捕から解放された24名のアリアナ号乗員(全員ウクライナ国籍)が特別機でウクライナに帰国。アリアナ号は昨年5月2日にソマリア沖で海賊に拿捕され、24名のオデッサ出身のウクライナ人乗員が拘束されていた。

B . その他の動き

1 / 4 (月)

・オヘンドフスキー中央選挙管理委員会副委員長は、2009年分の選挙準備資金は必要分の80%が支給されたが、2010年分についてはまだ支給が始まっていないと発言。

1 / 8 (金)

・International Living 紙は、生活の質に関する国際格付けにおいて、ウクライナを194ヶ国中68位と評価。

(了)